

議会だより とくのしま



第179号

平成27年5月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



徳之島三カ町議会議員大会（関連記事 P20 に）

第1回定例会

3月10日～20日

- | | |
|-------------------------|---------|
| ☆ 審議された案件と議決結果 | P 10～11 |
| ☆ 一般質問（7氏登壇） | P 11～17 |
| ☆ 議会の動き、平成27年第1回定例会を終えて | P 15・17 |
| ☆ 議員研修・所管事務調査レポート | P 17～19 |
| ☆ 三カ町議会議員大会、編集後記 | P 20 |

3 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果			
(議案)				
・特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定	原	案	可	決
・教育委員会教育長の給与及び勤務時間の特例に関する条例の制定	原	案	可	決
・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定	原	案	可	決
・教育委員会教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定	原	案	可	決
・単独住宅設置及び管理条例の制定	原	案	可	決
・課設置条例の一部改正	原	案	可	決
・行政手続条例の一部改正	原	案	可	決
・職員の給与に関する条例の一部改正	原	案	可	決
・介護保険条例の一部改正	原	案	可	決
・幼稚園保育料等徴収条例の一部改正	原	案	可	決
・製氷施設の指定管理者の指定	可			決
・過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	可			決
・平成 26 年度一般会計補正予算 (第 15 号)	原	案	可	決
・平成 26 年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第 7 号)	原	案	可	決
・平成 26 年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 5 号)	原	案	可	決
・平成 26 年度介護保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)	原	案	可	決
・平成 26 年度公共下水道事業特別会計補正予算 (第 7 号)	原	案	可	決
・平成 26 年度地域包括支援センター事業特別会計補正予算 (第 2 号)	原	案	可	決
・平成 26 年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 5 号)	原	案	可	決
・平成 26 年度水道事業会計補正予算 (第 7 号)	原	案	可	決
・平成 27 年度一般会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 27 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 27 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 27 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 27 年度介護保険事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 27 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 27 年度地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 27 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 27 年度水道事業会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・指定介護予防支援事業者の指定の要件並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定	可			決
・地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	可			決
・工事請負変更契約 (水道施設整備事業工事母間地区)	可			決
・工事請負変更契約 (水道施設整備事業工事南部地区)	可			決
・平成 26 年度一般会計補正予算 (第 16 号)	原	案	可	決
・徳之島愛ランド広域連合規約の一部改正	原	可		決
(発議)				
・議員派遣の件	原	案	可	決
・勇元勝雄君に対する懲罰の件	原	可		決

1 月臨時会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果			
(議案)				
・土地及び建物の売買契約	可			決

いっばん質問

3月定例会には、7人の議員が登壇し
施政方針、職員採用、環境美化対策、道
路整備等さらに文化財保護など町政全般
にわたり執行部の考えをたしました。
質問と答弁の要旨は次のとおりです。



亀津南区奥名橋付近の放置ごみ



富田 良一 議員

たばこのポイ捨て防止

問 たばこのポイ捨てが多
いが、町職員自ら模
範となり、携帯用の灰皿
を持参し、たばこのポイ捨
て防止の啓発に取り組み、
また第3日曜日のボラン

携帯用灰皿の
積極的活用

答 政田民生生活課長
職員に対して、携帯
用灰皿を持参するよう指導
し、たばこのポイ捨て防止
の啓発に取り組んでいく。
また、ボランティア清掃活
動については、職員に積極
的参加を促し、町民の模範
となるよう周知徹底を図
かっていく。

ティア活動にも積極的に参
加してはどうか。

本町の空き家
バンク制度は

問 空き家バンク制度の
具体的な仕組み、内
容は町としてどのようなも
のを考えているのか伺う。

持続可能な
制度を

答 住田企画課長
町と地元不動産業者

町長選への
方向性は

問 来る7月に町長選挙
があるが、このまま
政策を進めるのか、又は方
向性を変えるのか。あるい
は次の方に託されるつもり
があるのか伺う。

の連携により、所有者と利
用希望者が安心して取引が
できる持続可能な制度の整
備と、改修費用の一部助成
を検討する。情報発信は、
町のホームページ等を活用
していく。

3期目を
目指したい

答 高岡町長
後援会等と相談しな
がら判断する。私の政策に
批判的な人に、私の今まで
やってきた政策はできない
と思う。しっかり軌道に乗
せることが、3期目の仕事
になる。3期目を目指した
いと考えている。

2月臨時会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・工事請負契約の締結 (亀津中学校武道館新築工事 1 工区)	可 決
・工事請負契約の締結 (亀津中学校武道館新築工事 2 工区)	可 決
・平成 26 年度一般会計補正予算 (第 14 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出予算 (第 6 号)	原 案 可 決
・平成 26 年度水道事業会計歳入歳出予算 (第 6 号)	原 案 可 決

地籍調査を迅速に

是枝 孝太郎 議員



問 現在、地籍調査は職員・臨時職員の 8 人

によって進められている状況だが、進捗率はどうか、迅速に進めていくための今後の課題等について伺う。

早期対応が必要

答 深水耕地課長

調査が必要な面積は、88・36 平方メートル。進捗率は、5・82%（亀津、亀徳、母間、諸田、神之嶺、井之川地区等で一部登記完了）。土地精通者が高齢化で、境界確定が困難な状況があり、早期の対応が必要と考えている。

地域経済の

発展は

問 地域住民の雇用の確保と所得の向上を図るために、地域経済を戦略的にどのように導き発展させていくのか。また、地方創生について伺う。

地域住民の雇用の確保と所得の向上を図るために、地域経済を戦略的にどのように導き発展させていくのか。また、地方創生について伺う。

特色ある業種の 企業誘致

答 香山副町長

徳之島経済の発展のためには、離島というハンディキャップの克服が可能な業種や、奄美の特色を生かした業種の企業を誘致していくことが重要だと考えている。

地方創生とは

答 住田企画課長

地方創生の基本的な



地籍調査の境界立ち会い（花徳地区）

考え方は、人口減少克服と、まち・ひと・しごと創生と好循環の確立だ。

道路整備の

充実を

問 安全管理上、町道生活道の整備は、迅速な対応を取らなければならぬ。道路整備の充実をどのように考えているのか伺う。

安全管理上、町道生活道の整備は、迅速な対応を取らなければならぬ。道路整備の充実をどのように考えているのか伺う。

国からの

交付金に期待

答 麓建設課長

現在は、緊急を要するところを重機（コンボ・ダンプ等）借り上げや原材料（生コン等）支給で、一時しのぎを行っている状況だ。今後も国からの交付金事業を期待し、順次道路整備を進めていきたい。

その他の質問

○子どもの生活環境について

依然として減らないポイ捨て

宮之原 順子 議員



問 空き缶、ペットボトル、たばこの吸い殻のポイ捨てが依然として多い。自動販売機に「ポイ捨て禁止」のステッカーや回収ボックスの設置で、意識啓発ができないか。

空き缶、ペットボトル、たばこの吸い殻のポイ捨てが依然として多い。自動販売機に「ポイ捨て禁止」のステッカーや回収ボックスの設置で、意識啓発ができないか。

禁止ステッカーで

啓発

答 政田民生生活課長

ポイ捨て禁止のステッカーは、前向きに検討する。空き缶回収ボックスの設置は、自動販売機の管理者に広報等で依頼するが、設置は管理者の判断に委ねる。

旭ヶ丘に デマンドバスを

問 急速な高齢化に伴い、買い物や通院などで生活に支障を来す方が増えている。旭ヶ丘も路線バス停まで約 2 キロメートルある。急な坂もあり徒歩では大変。旭ヶ丘集落へのデマンドバスの運航は可能か。

急速な高齢化に伴い、買い物や通院などで生活に支障を来す方が増えている。旭ヶ丘も路線バス停まで約 2 キロメートルある。急な坂もあり徒歩では大変。旭ヶ丘集落へのデマンドバスの運航は可能か。

乗り継ぎを検討

答 住田企画課長

定期路線バスの利用促進の面からも、集落から直近の定期路線バス停留所までの乗り継ぎを目的とした運航について、関係機関と協議していきたい。



老朽化した神嶺浜トイレ

観光地の トイレ整備を

問 世界自然遺産登録後には、観光客は増え、

その中には高齢の方も多しと思われる。老朽化した観光施設の和式トイレを洋式にするとか今後、観光地のトイレ改修整備計画は。

答 幸田地域営業課長 景勝地や観光地の整備計画は、県地域振興推進

補助事業で、老朽化の進んでいるトイレ等の改修及び、周辺整備の申請を行っていく。その中で障がい者トイレの設置を進める。

補助事業で 進める

輸送コスト支援の金額は

広田 勉 議員



問 平成 26 年度創設された「農林水産物の輸送コスト支援交付金」は、

昨年 12 月末現在で払い戻し金額は、いくらぐらいあったのか。また航空運賃の割引効果も出ているのか。

現申請額は

約 1088 万円

答 里内農林水産課長 払い戻し金額は、昨

年 12 月末計画で、農産物 13 品目・水産物 5 品目計 18 品目。事務費込みで申請額は、約 1088 万円の予定となっている。この支援事業で、輸送コストの負担軽減を図り、本土と同一条件

の環境を整え基盤強化を図りたい。

利用者数は増加

答 住田企画課長

奄美群島航空運賃軽減事業の導入により、離島割引による旅客数は全ての路線で、対前年値を上回り利用者数が伸びていることから、事業の目的である奄美群島住民の負担軽減は図られているものと考えてる。

ごみステーション 設置は

問 南区からごみステーション設置の要望が

あり、前任の課長は設置の約束をしていたが、今年の計画に入っているのか。他の地区からも要望があると聞いているが計画は。

平成 27 年度設置予定

政田住民生活課長

答 要望があった南区 2 力所、花徳地区 2 力所は、平成 27 年度に予算を計上し設置する予定である。

早期の 急傾斜地工事を

問 南区の闘牛場入口の急傾斜地は、通学路

でありながら雨が降るたびに通行止めになる。平成 22 年に区民は、寄付金を集めて工事の促進を願って

27 年度から事業着手

答 麓建設課長

県によると、当地区は平成 27 年度から新規事業として測量設計業務委託を行うとのことだ。今後地元の協力をいただき、早期の完成が図れるよう県の方に強く要望していきたい。

その他の質問

○案内板設置について
○町営住宅建設について



亀津闘牛場入り口の急傾斜地

なぜ36人も採用か

勇元 勝雄 議員



問 14人の退職者に対し、36人の採用予定者。なぜ36人も採用をしなければならぬか。町の財政を考え将来の負担を少なくするため、退職者に見合った人数を採用するべきではないか伺う。

ある。また、本来正職員が行うべき職務や遅れている精算金事務・地籍調査の推進・災害時対応・世界自然遺産・地方創生・各施設のストゥクマネジメント・小規模校派遣・北部振興等に新たに職員を配置したい。

適正な職員数が 必要

答 高岡町長
今回の退職者の給与等は、約1億3600万円。36人の27年度にかかる給与等は、1億1200万円。差し引くと2400万円の削減になる。これまでの行政改革は減らすだけの方向性だったため、住民サービスや役場内の仕事上支障を来しているのが現状。奄美でみると、職員一人当たりの住民の人

必要な職員を 配置したい

答 岡元総務課長
今年度と前年度を合わせて、23人の職員が退職し、2人しか補充していない。町民ニーズが多様化し、求められる公共サービスも年々拡大する傾向に

ある。また、本来正職員が行うべき職務や遅れている精算金事務・地籍調査の推進・災害時対応・世界自然遺産・地方創生・各施設のストゥクマネジメント・小規模校派遣・北部振興等に新たに職員を配置したい。

数は、本町72人、奄美市65人、瀬戸内町44人、伊仙町56人、天城町46人と本町は職員数が非常に少ない状態だ。今回で60人に一人となる。年齢構成も現在は50代以上が4割でバランスが悪い状態だ。今回でバランスの取れた構成となり、地方創生等、政策的に進めるために必要だと考える。

各公民館への インターネット配信を

問 町民は議員がどのような議会活動をしているか知りたいと思っっている。議員がどのような発言・活動をしているか町民に知らせるため、各公民館へのインターネット配信はできないか。

町民は議員がどのような議会活動をしているか知りたいと思っっている。議員がどのような発言・活動をしているか町民に知らせるため、各公民館へのインターネット配信はできないか。

現段階では 考えていない

答 岡元総務課長
今後、地方創生総合戦



大雨時にあふれる小郷川（亀徳保育所入り口付近）

予算増で 要望対応を

問 地方交付税で1億円近くの道路維持管理費が国からきているが、建設課には、80件以上の要望がたまっている。予算を増やして町民の要望に応え、道路や水路の整備など、生活に密着したサービスを提

供すべきでは。

相当分を 予算計上

答 岡元総務課長
交付税としてではなくて、基準財政需要額として算定されている。平成25年度の道路橋梁決算額は、4億3千万円である。うち地方債が約2億円、道路に関する公債費が約7千万円、一般財源約5千万円が予算化されている。

その他の質問
○4億6千万円の土地について
○入札について
○町長の施政方針について

※無線LANとは、無線通信を利用してデータの送受信を行うネットワークのことである。

略の中で、観光拠点や避難所・防災拠点への公衆無線LAN整備事業で環境整備がされる可能性がある。現在、スマートフォンやタブレット端末での視聴も可能なので新たな光ケーブルの敷設は考えていない。

シユメール人からのメッセー

幸 千恵子 議員



理していききたい。また、指定されていない遺跡についても、文化財保護審議会に諮っていききたい。

整備に努める

幸田地域営業課長

観光地にある未整備の遺跡、史跡の保護は、多額の費用を要するが、歴史を体感してもらう場としても、調査、公開を行い関係各課との連携の下で、今後は順次整備ができるように努めていく。

不納欠損処理は妥当か

「滞納処分」に該当するケースはあるか。悪質滞納者の不納欠損はあつてはならない。徴収権の時効消滅の判断や決定は誰が行うか。監査委員は不納欠損名簿を確認できるか。不納欠損した法人のその後はどうなっているか。

問

「滞納処分の停止の取り消し」に該当するケースはあるか。悪質滞納者の不納欠損はあつてはならない。徴収権の時効消滅の判断や決定は誰が行うか。監査委員は不納欠損名簿を確認できるか。不納欠損した法人のその後はどうなっているか。

適切に処理

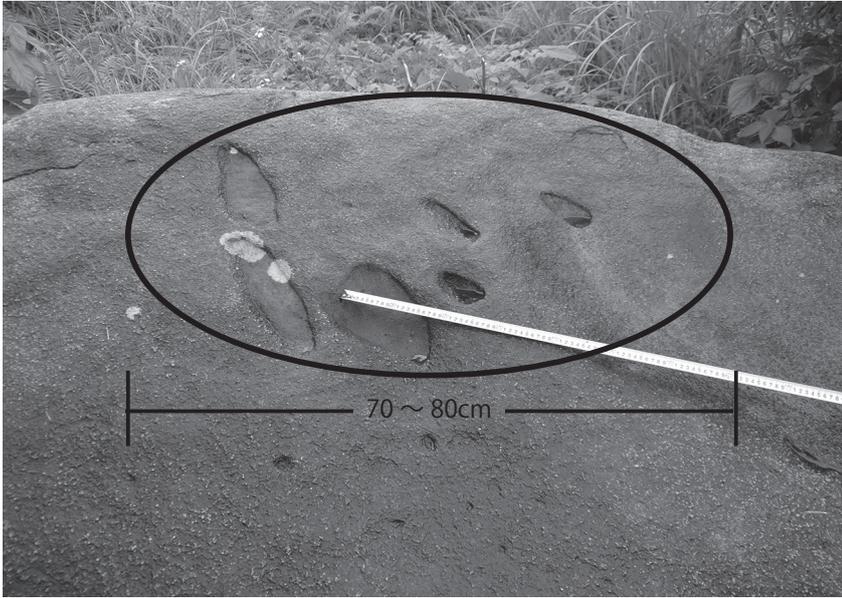
秋丸収納対策課長

「滞納処分の停止の取り消し」は、現段階ではない。時効消滅は、地方税法第18条で定められている。不納欠損は、処分調書で確認し町長まで決裁を受けている。監査委員は不納欠損名簿を確認できる。該当法人は廃業。今後も公平公正で、適切に処理していく。

文化財保護審議会に諮る

深川社会教育課長

文化財は、保護・整備した上で現状維持が一番望ましいと思われる。文化財保護審議会に諮りながら、現在の状況を維持管



手々にある「鬼の足跡石」

議会の動き

1月	成人式	17日	第66回定期総会及び 県離島振興町村議会 議長会（鹿児島市）
5日	消防出初め式	24日	奄美黒糖焼酎の夕べ 及びカクテルパー ティ（鹿児島市）
6日	第2回議会だより編 集委員会	26日	市町村長・議会議長 合同会（奄美市）
7日	公明党奄美ティダ委 員会並びに新春政経 懇話会（奄美市）	3月	樟南第二高等学校卒 業式
14日	第3回議会だより編 集委員会	1日	劇団四季こころの劇 場公演・交歓会
19日	正副議長研修会（奄 美市）	2日	日本食研会長講演会
20日	徳之島三力町議会議 員連絡協議会役員会 （伊仙町）	5日	議会運営委員会
23日	第1回臨時会	6日	徳之島物産加工セン ターオープンングセ レモニー及び事業説 明会・懇親会
26日	所管事務調査（福岡 県八女市）	7日	亀津中学校武道館地 鎮祭
27日	所管事務調査（福岡 県宗像市・豊前市）	9日	平成26年度「学土村 塾」閉講式
28日	議員研修会（鹿児島 市）	10日	第1回定例会開会
29日	所管事務調査（福岡 県八女市）	12日	町内各中学校・併設 校卒業式
2月	全国町村会会長の講 演会（伊仙町）	14日	第1回定例会閉会
4日	徳之島三力町議会議 員大会（伊仙町）	20日	町内各小学校卒業式
6日	第2回臨時会	24日	池山福富氏叙勲受章 祝い
9日		26日	

2億5千万円の 土地購入は失政

問 2億5千万円で購入した土地は、数多くの問題点があった。造成後には、4億6千万円に膨らんだ税金の無駄遣いであり失政か。「一生忘れない、二度と繰り返さない反省をした」という答弁は聞いた覚えがないが、いつの議会か。

失政では無く 失敗

答 高岡町長

病院や徳寿園誘致ができなかったことは、以前お詫びしたが、いつの議会だったかは定かではない。土地購入の政策は失政ではなく失敗だった。しっかり反省し今後は企業誘致等には失敗のないようにしなければならぬ。

その他の質問

○財産差し押さえについて

井之川県道危険箇所への対応を

鶴野 将光 議員



から歩行者がほとんど見えず、夜間や降雨時は更に危険である。道路拡張などで問題点の根本的解決を図るよう県へ対応を促していただきたい。

問

井之川県道の急カーブ地点、ドライバ―



井之川県道の危険な急カーブ

用地取得の 解決が必要

答 麓建設課長
県によると、現地は個人の倉庫跡であり、相続等の関係で用地取得が難航し、事業着手は困難な状況であるとのこと。駐在員を中心に地区自治会等で、地主の方に撤去をお願いするの一つの方法ではないかと思う。

危険通学路の 解消を

問 *亀津19号線は、亀津小・中学校の通学路であるが、道幅が狭く歩道もない。児童生徒の命の保証は、児童生徒とドライバ―の注意力によつて担保されているに過ぎず、非常に危険。当道路の拡幅についてどう考えるのか。

※亀津19号線とは、亀津大瀬川沿いにある亀津中学校前の道路のことである。

問題解決後に 計画

答 麓建設課長
26年度に測量設計業務・実施設計・用地測量・不動産鑑定士の作業を行つている。道路整備事業は、用地・補償等の問題が解決後に、町財政との調整等を検討し、順次整備を進める計画である。

無電柱化へ 向けて

問 金子代議士の会見で、『無電柱化の推進に関する法律案』を今国会会期中に成立、制度施行を目指す」とあるが、奄美群島民悲願の無電柱化事業に、本町が率先して取り組んでいく必要があると考えるが。

制度設計を 見極めて対応

答 岡元総務課長
無電柱化については、以前から国策として推進すべきと考えていた。今後、法案の成立とともに国交省の詳細な制度設計がなされ、国・県・町・電力会社・通信事業者等の役割分担や、それぞれの負担割合などを見極めた上で考えていきたい。

- その他の質問
- 施政方針について
 - 健康の森運動公園について
 - 世界自然遺産登録について
 - 「旬華」について
 - 亀津中学校新築工事について

平成27年第1回定例会を終えて

議長 木原 良治

平成27年第1回定例会
が、3月10日～20日までの
11日間開会された。通常
予算議会と呼ばれており、
4月1日～翌年3月31日ま
での1年間の予算(案)を
審議する。新年度の当初
予算は、一般会計予算額
69億1016万円である。
特別会計は8事業特別会計
で、予算額42億2109万
円である。

第1回定例会では、高
岡町長の平成27年度の施政
方針が述べられ、1年間の
事業計画等が示された。
議会は、二元代表制の
役割を十分に自覚して、予
算(案)の提案に対して、
予算審査特別委員会で審議
され、本会議において原案
可決された。

今定例会においては、
徳之島町議会基本条例策定
調査特別委員会が設置され
た。今後、約半年間にわたっ
て特別委員会で議論を重ね

条例制定を目指すものであ
る。

議会基本条例とは、地
方議会の運営をどのように
行うかを定めた条例で、条
例化されると、定例会後に
議会報告会を開催し、直接
町民との意見交換会の場を
設けるものである。そして、
議員の資質向上を図るため
にも執行部へ反問権を付与
し、より深い議論を尽くす
ためでもある。議員もより
一層の資質向上が求められ
ている。

ところで、国において
は、地方創生法が施行され
「まち・ひと・しごと創生法」
によってそれぞれの地方自
治体も独自の地方創生戦略
計画を策定しなければなら
ない。

徳之島町も独自の地方
創生戦略計画を提案しなけ
ればならない。議会として
も積極的に関わっていく必
要がある。今議会では、一

般質問に7人の議員が登壇
し、町政全般にわたって議
論された。本会議もイン
ターネット配信されて広く
国内外で視聴できる。

一問一答式の一般質問
であるので、議員は政策立
案能力の向上に努め、政策
提案型の議会に向けての努
力が欠かせない。議会と執
行部の目指すべきは、全町
民の福祉の向上であり、町
政全般の発展であり、方向
性は同一でありながらも一
定の距離を置く緊張感のあ
る二元代表制の存在を示す
必要がある。

議員研修レポート

鹿児島県内の町村議会議員研修会が、平成27年1月
29日にホテルウエルビューかごしまで開催され、2人
の講師が次の演題で講演を行いました。その内容を各
委員長がレポートします。

総務文教厚生委員長 是枝孝太郎

「人口減少時代における自治体のあり方」

講師 明治大学政治経済学部教授 加藤久和氏
将来の我々の自治体の
あり方について、深く考え
させられました。具体的な
内容は、日本の各地域にお
ける人口減少に伴い、少子
高齢化が急速に進みつつあ
る今日、少子高齢化の進展
に的確に対応し、人口の減
少に歯止めをかけるとも
に、東京圏への人口の過度
の集中を是正し、それぞれ
の地域で住みよい環境を確
保して、将来にわたって活
力ある日本社会を維持して
いくために、まち・ひと・
しごと創生に関する政策を
総合的かつ計画的に実施す
る。

まち・ひと・しごと創
生とは、次のことを一体的

1. 日常生活・社会生活
の基盤となるサービ
スの整備。

2. 日常生活・社会生活
の基盤となるサービ
スの整備。

(前ページからの続き)

クタンクより提言され、地方における人口減少が急速に進み「消滅自治体リスト」が公表されたからです。

今現在、日本の全ての中心が東京都であることから、地方を活性化させるために、具体的に何を各地方でするかを探しつつ、中央集権的な今の仕組みを変えて、若者も高齢者も豊かな生活を送ることが出来る地域づくりに国としては、「地方創生」の背景と論点に集約したいのではないかと。

徳之島町も「消滅の恐れがある自治体896」の中に存在しており、町民として町の将来について考え議論していかねければならないと思います。

経済建設常任委員長 保岡盛寿
「小さな海岸の大きな取組」 ～国立公園の新しいあり方～

講師 環境教育NPO法人くすの木自然館代表理事 浜本奈鼓氏

2000年から始良町重富海岸をきれいにしようと取り組みが始まり、2012年には霧島錦江湾国立公園に制定されるまでの活動について講演があった。

その内容は、海岸には、ごみが散乱し汚い状態。だから人が来ないしイメージも悪かった。当時の人々の反応は、「ごみ拾いしてもどうせまた汚れるし」、「イベントとしてやりたいけど資金がない」、「治安が悪いから近づきたくない」、「等々マイナスの反応ばかり。問題点は何か。できることは何か。

初めに見た目をよくしよう。見える部分からよくしよう。とスタッフでごみ拾いを始める。ごみを拾って記録、分析をし種類によって対策をとる。

例えば、弁当容器が多いので昼ご飯が終わるくらいの時間に合わせてごみ拾い。たばこの吸い殻が多いと携帯灰皿

を配布する等、集落の人たちにも声をかけ毎日のように一緒にごみ拾い。特に子どもたちが大切。ごみ拾いをする子どもたちは、大人になったら捨てる人間にはならない。自分たちがやったことを喜んでくれる人がいると達成感を感じる。

「砂」に変化していること。汚くなって生き物がいなくなつたのではない。「砂利質が好きなき生き物」から「砂利質が好きな生き物」に生き物相が変化している途中だったことがわかった。

このように干潟の底質調査を継続的に実施していくことが大切。このような取り組みをした結果、重富海岸一帯は2012年に霧島錦江湾国立公園に制定された。

博物館が行う環境教育は、綿密な調査を元にしたデータの公開、自然への関わり方を知らない、自然の恵みを理解しない行動をとる人々へのアプローチ、老若男女全ての人も対応できるように体験型プログラムの開発と実施をモットーに進めていく。合い言葉は「優先すべきは地域の利益、尊重すべきは地域の個性」これからも素晴らしい自然を後の人々に伝えていくことを目的として活動していきたい。

ごみ拾いという小さなことをコツコツと積み重ねていくことが大きな結果につながるのだと感じた講演だった。

所管事務調査レポート

「健康むなかた21」について 徳田 進

平成27年1月27日宗像市役所において、当議会の所管事務調査を行いました。

視察内容は、宗像市が市民の健康づくりの支援に対する取り組みで策定された「健康むなかた21」についてでした。

活き生き・地域が元氣・みんな笑顔で健康づくり』を基本理念とし、また基本方針として(1)「自分の健康は自分で守り、つくる」意識の啓発、(2)地域を主体とした健康づくりの推進の2項目を掲げ計画を図っています。

「健康むなかた21」の策定にいたっては、平成15年に「宗像市健康づくり推進協議会」の設置(構成団体からなる)に伴い、市民・関係団体・行政の各々の具体的な取り組みを示した行動計画として策定されました。「健康むなかた21」は「人が

これに対し、宗像市健康福祉部健康づくり課では、市民の健康づくり意識の向上や健康づくりの情報発信として、毎月発行する広報に「健康むなかた21」のコーナーを設けて、健康関連情報の掲示や各コミュニティと協働で作成するウォーキングマップ、健康づくり啓発のチラシ作成や看板の設置を実施しています。

また、ライフステージを5つに区分し、それぞれに「目指す姿」を設定、各ライフステージに応じた健康づくりを支援する計画としています。

コミュニティ(地域)を主体にした健康づくり事業では、健康づくりリーダーの養成講座を開催し、地域で健康づくり



宗像ユリックスで説明を受ける議員たち

を担う人材育成につなげています。

以上のほかに特定健診の状況報告があり、平成25年度の特
定健診受診率は33・7%（福岡
県平均29・8%）、特定保健指
導実施率は29・1%（福岡県平
均40・3%）でした。

徳之島町は平成24年度の受
診率は38・6%、実施率は58%
でした。

受診率は平均を上回っては

「学校の統廃合」について 勇元勝雄

今回視察した八女市は、平
成22年2月に1市2町2村で
合併し、合併当時は小中学校合
わせて32校あったが、統廃合で
現在は25校に減っています。ま
だまだこれからも統廃合を進
めていくようです。統廃合に対
し、地域住民へのアンケート調
査は行わず、地区の保護者等が
中心となって独自の意向調査
を行い、保護者の意向を受けて
地域住民が学校の統廃合を受
け入れたということです。

その後、統廃合推進委員会
を設置し、次に学校づくり協
会を設置。学校の名称は、学校
づくり協議会での協議を経て



八女市での説明会の様子

いるが目値には達していま
せん。特にライフステージでい
う青壮年期の受診率が低い結
果となっています。働き盛りの
死亡率が増加していることも
あり、青壮年期の受診率向上は
重要な課題と言えます。
宗像市と同じように当町で
も、第二次「健康どう宝」徳之
島町21健康は自分の宝々を
掲げ町民の健康づくり運動に
取り組んでいます。

一般公募によって決定。また、
校歌は統合地区出身の音楽家
等に依頼し新規に制定。

新しい校章は、児童生徒か
らデザインの原案を募集し、そ

今後、少子・高齢化がさら
に進行することが見込まれる
中、町民の健康寿命をどのよう
に延ばしていくかということ
が、地域社会の維持・発展にとっ
ても重要な課題となります。
これまでの取り組みへの評
価、健康課題を整理し、さらなる
目標指標と重点施策の検討・
計画の推進に努めていかなく
てはならないと言えます。
児童生徒に係る通学時の安
全面は、統合したことにより通
学距離が長くなる子どもたち
については、スクールバスを運
行し通学及び安全を確保（統合
前のスクールバス運行経路、バ
ス停等の調整は難航）。
事前の統廃合予定校の事業
交流と活動は、各役職による部
会（校長、副校長、学校事務
PTA）を設置して、各部会で
統合前の活動を検証し、児童の
交流は統廃合前に3回実施し
たそうです。
今後、徳之島町も学校の統
廃合に向けて、児童生徒の不安
を取り除くため学習指導の在
り方、環境の変化への配慮、P

大人気!! 「道の駅むなかた」「道の駅豊前おこしかけ」

富田良一

先日、1月28日に福岡市と
北九州市を結ぶ国道495号
線沿いに位置する「道の駅むな
かた」を視察研修しました。

さすが九州4年連続人気ナ
ンバーワンだけあって、活気が
ありました。なぜ、人気ナンバ
ーワンになれたのか、話しを聞い
てみると、テレビによる宣伝が
非常に大きいとのことでした。
マスクミを上手く使えば、金が
掛からないくて儲かるとのこ
とです。：わかる気がします。

TAとの話し合い地域住民と
学校との関わりをどのように
工夫し実践するか。校区の広が
りによる家庭と生活生徒指導
の在り方、学校統廃合における
地域の衰退化、学校の跡地利用
等もろもろ解決すべき問題が
山積しています。

今後は、PTA、地域住民
との丁寧な話し合いを持ち、丁
寧な説明をしてどのような方
法が子どもたちのため一番よ
い方法か考えていかなければ
ならないと思いました。

現に6社のテレビ局が取材
して全国に知れ渡り、大人気だ
そうです。そのこともあり、平
成12年4月の設立から平成26
年7月までの14年目で、累計来
場者数は1千万人を達成した
とのこと。本堂にびっくり
です。

売りは、玄界灘の荒波で採
まれた活きの良い海産物と宗
像の自然の恵みで育まれた農
産物を豊富に取りそろえ、また
レストランでは宗像食材にこ
だわった魚屋料理と農家料理
の提供でした。

次に、豊前市の四郎丸地区、
国道10号線すぐ側にある「道の
駅豊前おこしかけ」を視察研修
しました。

1200平方メートルの全天候型
ドーム式の大きな屋根が印象
的な物産館で、毎日指定農家か
ら仕入れた、朝採れの新鮮な野
菜や果物を安価に提供する直
売コーナーをはじめ、地元の特
産品、加工品なども充実して特
に数量限定の豪華なお弁当は、
大人気であるとのこと。また、
便器の生産地で「日本一おも



「道の駅むなかた」を視察する議員ら

やりのあるトイレ」が評判とな
り、全国の道の駅ランキングで
6位に選ばれたそうです。

2カ所の道の駅を視察研修
して感じたことは、共通点は知
名度があること、それによっ
て外からの流通客が多いこと
です。地元のお客はほんの1〜
2割程度で、8〜9割の方は外
からのお客さんだそうです。

土・日を利用して、遠方か
ら来て多くの買い物をするそ
うです。羨ましい限りです。徳
之島では、無理かなあ〜でも
そういうところに島の物産品
を出品できたらいいですね。参
考になることが数多くありま
した

三カ町議会議員大会及び研修会



講師の佐村知子氏

徳之島三カ町の提出議題は、次のとおりです。

平土野港多機能港湾新設整備について

徳之島三カ町議会議員大会及び研修会が2月6日、伊仙町ほーらい館で開催されました。

三町の議会議員、三町長、金子万寿夫衆議院議員、禧久伸一郎県議会議員が出席し、会長あいさつ、来賓祝辞、国政報告、県政報告がありました。また、天城町から提出された議題が採択されました。

その後、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部地方創生総括官補 佐村知子氏による「地方版総合戦略について」と題して講演が行われました。この講演には、徳之島三町の行政関係者、民間団体関係者も参加しました。

徳之島三カ町の提出議題は、次のとおりです。平土野港多機能港湾新設整備について、東シナ海側に面し、西海岸の良さを十分生かせる地域であります。また、鹿児島、奄美群島、沖縄航路など離島航路のターミナルとして、地域経済を支える生活物資の流通基地及び漁業などの活動の場として、地域に大きな役割を果たしており、徳之島三町にとってなくてはならない重要港湾です。

しかしながら現在平土野港は、北西及び南西の風波による影響を受けやすく、定期船等が接岸出来ないことがあり、生活物資、農畜産物、建設資材等の輸送に支障を来すことがあります。

最近では、大型観光クルーズ船や貨物船・タンカーなどが安定して寄港できる港湾にするには、現在の平土野港に隣接する北側に「喜治海岸」があり、北よりの風波の影響も少なく、静穏度の高い海域となっており、現平土野港と一体化した新しい機能を持った港の新設整備を望みます。

今後の世界自然遺産登録によって更なる徳之島の文化や、希少価値のある動植物等を世界に発信することで観光客の増加、地域経済の活性化につながるものと期待されます。

徳之島平土野港を、大型観光クルーズ

船や貨物船・タンカーなどが安定して寄港できる港湾にするには、現在の平土野港に隣接する北側に「喜治海岸」があり、北よりの風波の影響も少なく、静穏度の高い海域となっており、現平土野港と一体化した新しい機能を持った港の新設整備を望みます。

このような観点から、平土野港を多機能港湾として新設整備実現を強く要望します。



研修中の議員の皆さん

編集後記

私が議員になって、早1年が経とうとして

いる。やっと議会の流れが少しずつわかってきた。

国は今、地方創生を掲げている。我が徳之島においても2年後（平成29年）の奄美世界自然遺産登録に向けて大きなチャンスが訪れようとしている。何事も最初が肝心だ。まだ島民の認識が低い気がする。まず島民が自覚、努力、協力をしなければせっかく来るチャンスもつかむことはできない。

まだごみが多いこと、特にたばこのポイ捨てが目立つ。やはり自分のつくったごみは、最後まで責任を持って処分しないといけないという島民の意識改革が必要だ。

これは、誰が損するわけでもないで今日からみんなで始めたらどうだろう。世界自然遺産登録になつてからでは遅い。チャンスを活かすも殺すも島民次第だ。是非チャンスを活かしたいものだ。そうすればごみの落ちていないきれいな島になり、海外からの評価も高くなる。

世界自然遺産登録になれば海外からも観光客が増える。人の流れは、物、金の流れでもありみんなでその流れをつかみ取り、奄美世界自然遺産登録に向けて島全体で頑張ろうではありませんか。

文責 富田良一

この度、広田勉議員の辞職に伴い編集委員が変更になりました。新しい編集委員は宮之原順子議員です。



編集委員の皆さん